

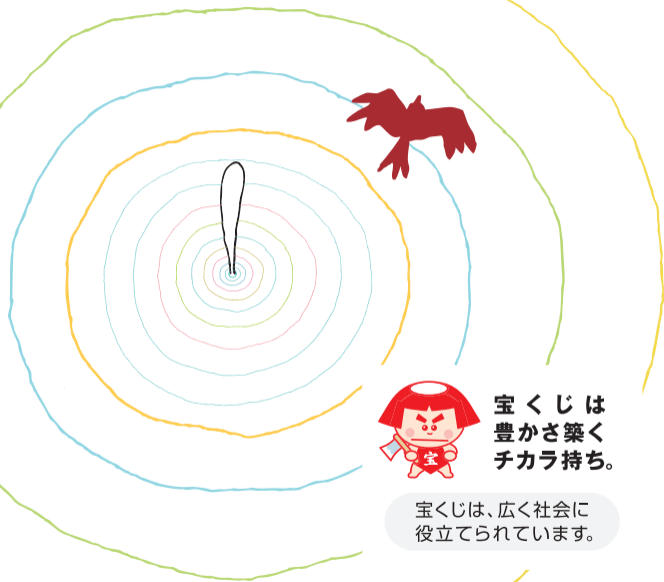
鳥の演劇祭

"BIRD" Theatre Festival TOTTORI

2008年9月12日(金)～28日(日)

会場：鳥の劇場

(鳥取県鳥取市鹿野町1812-1 旧鹿野小学校・旧鹿野幼稚園)



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

からだで感じる
そのばで感じる





この演劇祭は、「からだでかんじる そのばでかんじる」をテーマに、
鳥取県、鳥取市、特定非営利活動法人鳥の劇場、地元企業、地元住民の方々の協働により実施されます。
いろいろなお芝居の上演だけでなく、ワークショップ、創作現場の探険なども用意しました。
劇場周辺の豊かな自然や文化資源を体感してもらうプログラムもお楽しみいただけます。
人の営み、自然の営みをみなさんの体で、その現場で感じてください。
演劇祭の広げる波が、地域の方々の生活に少しでも届くよう盛り上げていきます。ぜひ応援してください。

演劇祭に期待すること



鳥取県

鳥取に定住し地域に根ざしたアーティストが、長く活動を継続するための飛躍の機会となり、このようなモデルをもとに、文化芸術により地域を元気にする取組が県内各所に広がることを期待します。

また、著名なアーティストが鳥取県に滞在し、ワークショップなどにより県民と直接触れあえる機会を提供することで、県民の皆様新たな魅力を発見していただく機会となることを期待します。

あわせて、次世代を担う子どもたちも楽しめる内容とし、次世代の活動者・鑑賞者の刺激となるような演劇祭を目指します。

鳥取市

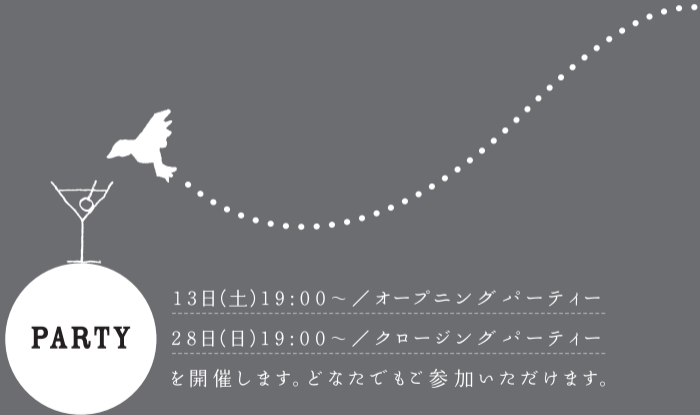
演劇祭を通して、演劇の楽しさや深さを味わい、子どもから大人まで感動を共有することができ、地域の活性化はもとより、鳥取市の文化芸術の振興に寄与するものと考えており、「演劇」の新たな発見と再認識、演劇団体同士及び観客の皆様との「演劇」を通しての交流が生まれるものと考えています。

鳥の劇場

演劇祭で私達は、普段の活動より多くの人に出会います。たくさんの地域の人、いつもとは違うお客さん、行政の人、他の上演団体の人などなど。劇場が地域住民みんなのための場である時、「公共劇場」と呼んだりするのですが、演劇祭が生む広い関わりを通じて、劇場が「公共」であるとはどういうことか、もっと「公共」であるにはどうしたらいいかを深く考え、新しい発見につながればと思っています。

❖ スケジュール

2008年9月12日(金)～28日(日)



13日(土)19:00～ / オープニングパーティー

28日(日)19:00～ / クロージングパーティー

を開催します。どなたでもご参加いただけます。

12
(金)

13
(土)

14
(日)

15
(月・祝)

16
(火)

17
(水)

とっとり体験
プログラム

●10:00

『にんぎょひめ』の
世界へようこそ!

●10:00

平田オリザさんの
コミュニケーションワークショップ

●13:00

にんぎょひめ
(世田谷パブリックシアター)

●14:00

●14:00

二本立て上演
ヤルタ会談 / 隣にいても一人 -広島編-
(青年団)

●17:00

●17:00

●22:00

オープニング
パーティー

●19:00

現場のぞき体験
(にんぎょひめ)

●20:00

現場のぞき体験
(ヘッダ・ガブラー)

●20:00

18
(木)

19
(金)

20
(土)

21
(日)

22
(月)

23
(火・祝)

24
(水)

25
(木)

26
(金)

27
(土)

28
(日)

とっとり体験プログラム

●10:00

●9:00

私の大切なもの

(朗読グループ ひまわりの会)

●14:00

●14:00

とっとり体験プログラム

●10:00

とっとり体験プログラム

●9:00

料理昇降機 (鳥の劇場)

●14:00

●14:00

火宅か修羅か (青年団)

●17:00

●17:00

クロージング
パーティー

●19:00

現場のぞき体験
(火宅か修羅か)

●20:00

シンポジウム

●19:30

ヘッダ・ガブラー (鳥の劇場)

●19:30

●19:30

●17:00

●17:00

●22:00

❖ 公演チケットについて

日時指定・全席自由 〈当日は入場整理番号の順にご入場いただきます。〉

下記いずれかにてご予約ください。ご予約順に入場整理番号をお取りします。公演当日、受付で料金をお支払ください。

当日券は開演1時間前から販売します。公演当日、当日券の有無を必ずお電話にてお確かめください。

❖ ワークショップ/とっとり体験プログラム/シンポジウム について


下記いずれかにてお申込ください。料金は当日お支払ください。

📞ご予約

電話 鳥の劇場 0857-84-3268

電子メール ticket@birdtheatre.org

ウェブ www.birdtheatre.org/engekisai/



チケット発売
8月1日(金)より

料金表

オススメ

❖ 上演プログラム	『ヤルタ会談』/『隣にいても一人 -広島編-』二本立て上演、 『ヘッダ・ガブラー』、 『火宅か修羅か』、『料理昇降機』			『にんぎょひめ』	『私の大切なもの』	6公演セット券 (1,000円お得です。優先的に入場できます。 予約も精算も1回ですむので便利です!)
	大人/2,500円 中高生/1,000円 小学生/無料	大人/2,500円 4歳~高校生/1,000円	大人・中高生/500円 小学生/無料	大人/12,000円		
❖ ワークショップ	『にんぎょひめ』 の世界へようこそ!		平田オリザさんの コミュニケーション ワークショップ	現場のぞき体験		❖ シンポジウム
	小中学生/500円	大人(高校生以上)/1,000円	無料 演劇祭の公演を観る方に限ります。	無料		
❖ とっとり体験プログラム	緑の中で マイナスイオンツアー!	美しい和紙を すいてみよう!	しかの・けたか路 見仏記	おかずは自分で 釣食ります	三徳山投入堂 修験者に挑戦!	❖ (関連企画) テレーサさんといっしょに からだであそぼう
	大人(中学生以上)/2,600円 4歳~小学生/1,100円	1,100円	500円	1,100円	1,500円	

❖ 鳥の劇場へのアクセス

住所：鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話：0857-84-3268



最寄りのJR浜村駅から劇場まで車で約15分かかります。

公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします。(無料、要予約)

●県内からお越しの場合

JR

浜村駅を目指して下さい。

自動車

会場近くの△の場所に案内看板を設置します。

- ・鳥取市中心部から約30分
- ・鳥取空港から約20分
- ・倉吉市中心部から約45分
- ・米子市中心部から約1時間30分



●県外からお越しの場合

JR

鳥取駅を目指して下さい。京都・大阪からはスーパーはくとか、岡山からはスーパーいなばが便利です。

鳥取駅から浜村駅までは、山陰本線の米子方面行きで約25分です。

高速バス

東京・大阪・神戸・京都・岡山・広島・福岡と鳥取の間で高速バスが走っています。バスは鳥取駅前に着きます。JRで浜村駅までお越しください。

自動車

- ・大阪から約3時間(中国自動車道佐用IC~国道53号~国道29号~国道9号)
- ・京都から約3時間30分(国道9号)
- ・岡山から約3時間(国道53号~国道9号)

飛行機

東京・鳥取間を全日空が1日4往復運行しています。

鳥取空港からは車で約20分です。

連絡バスで鳥取駅まで移動し、浜村駅までJRを利用するという方法もあります。



❖ 会場である「鳥の劇場」のこと

2006年7月、劇団鳥の劇場が鳥取県鳥取市鹿野町の使われなくなった幼稚園を鳥取市より借り受け、活動拠点とし、劇団名と同じく「鳥の劇場」と命名。隣接する旧鹿野小学校体育館も利用し、小学校の体育館を「劇場」、幼稚園の遊戯室を「スタジオ」として劇場化。

劇場 は、舞台が間口12m×奥行き12m×高さ最大12m、客席数最大190席。

スタジオ は、舞台が間口11m×奥行き5m×高さ最大6m、客席数最大90席。

待合場所、客席、舞台機構に至るまで、全てを手作りで劇場へと作り上げる。

より深く演劇を体験してもらうための快適な場作りを心がけ、日々工夫を重ねている。



❖ 演劇祭をより多くの方に楽しんでいただくために

〈送迎します〉… JR浜村駅と劇場の間を車で送迎いたします。（無料、要予約）

〈託児します〉… 小さいお子さまをお預かりします。（有料、要予約）

〈バリアフリーをめざします〉… 障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡をください。

〈カフェの営業をします〉… 上演の前後に、飲み物、お菓子、軽いお食事を販売いたします。

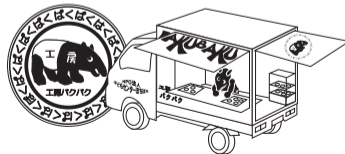
■鳥のカフェ

深いコク、豊かな味わい。多くのファンを持つコーヒー豆焙煎のスペシャリスト・まる達さんによるおいしいコーヒーを中心にカフェを営業します。

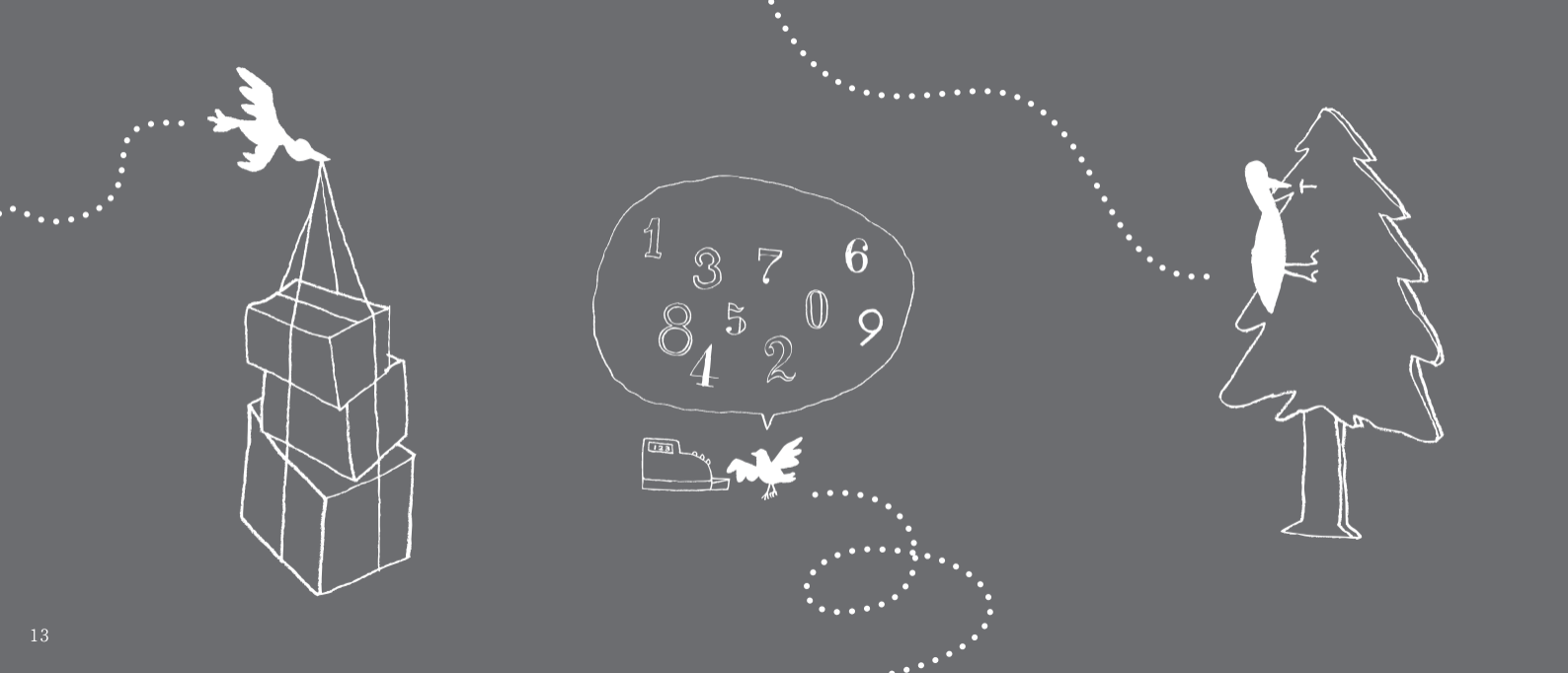


■NPO法人子どもセンターぼちぼち「工房バクバク」キッチンカー

国産・無添加にこだわった豆のカレーなどの軽食や、クッキー・タルトなどのサイドメニューも充実。作りたてを積んでやってきます。



工房バクバクでは、自立を目指した10代の子どものための就労研修として菓子の製造と販売を行っています。収益は、子どもたちの活動に使われます。



❖ ボランティアを募集します

『鳥の演劇祭』のお手伝いをしてくださる方を求めています。無報酬です。

演劇祭開催までの広報活動、劇場準備から、当日の会場運営にいたるまで、仕事の内容は様々です。経験は問いません。空いている時間を使って「演劇祭を盛り上げて楽しもう」という気持ちでご参加いただけるとうれしいです。

登録から参加の手順

- 1 下記登録用メールアドレスにお名前、電話番号、メールアドレスをご送信ください。返信のメールをお送りします。これで登録完了です。
- 2 仕事があるとき、鳥の劇場からご登録の皆さんに、日時と仕事内容を電子メールの一斉送信でお送りします。
- 3 参加可能な方は、その旨をご返信ください。無理な方は返信不要です。また次回にお願いいたします。
- 4 当日お越しいただき、お手伝いをしていただきます。

※「電子メールは使わないんだけど」という方は、電話にてご連絡ください。

鳥の劇場 >>>>>> 登録用メールアドレス：info@birdtheatre.org 電話：0857-84-3268



にんぎょひめ アンデルセン作「人魚姫」より（世田谷パブリックシアター）

脚本・演出：テレーサ・ルドヴィコ

9月13日（土）・14日（日）14:00 12日（金）20:00から現場のぞき体験があります（詳しくはP.31へ）

劇場 料金：大人=2,500円 4歳～高校生=1,000円

半分人間、半分さかなの女の子、にんぎょひめは、やさしい王子という「人間」に出会い、途方もない愛の力によって二人はひきつけられるが・・・。

イタリアの劇団テアトロ・キズメットの脚本家・演出家テレーサ・ルドヴィコが手がける『にんぎょひめ』。テレーサの舞台は、シンプルながら幻想的な舞台とポエティックな音楽で、魔法のように観るものの想像力をかき立て、心を魅了します。


子どもたちへ。恐がらないでください。たとえみなさんの尾びれが足になり、足が根に、根が水に、水が空気に、空気が雲になっても。雲はそのうち雨になり、雨は水になり、水は音をたてて流れていくのですから。

イタリアより愛をこめて テレーサ・ルドヴィコ

出演：大方斐紗子 松橋 登 豊島理恵（オペラシアターこんにゃく座） 楠原竜也 萩 窓子

翻訳・通訳：石川若枝 美術：ルカ・ルツァ 照明：柘植幸久 衣裳：田中洋介 音響：豊原美晴 振付：楠原竜也 プロダクション・マネージャー：山本園子

舞台監督：小金井伸一 楽器協力：萩 窓子 小道具協力：加瀬浩嗣 制作協力：ジュディ・オウエン 学芸：石井 恵 制作：根本晴美 清水幸代

主催：鳥の演劇祭実行委員会（財）せたがや文化財団 文化庁 企画・制作：世田谷パブリックシアター  平成20年度文化庁「舞台芸術の魅力発見事業」

TALK 各回上演後に出演者によるアフタートークがあります

二本立て上演

ヤルタ会談／隣にいても一人 - 広島編 - (青年団)

作・演出：平田オリザ

9月13日(土) 17:00・14日(日) 17:00/22:00

スタジオ 料金：大人=2,500円 中高生=1,000円 小学生=無料

『ヤルタ会談』

第二次大戦末期にソ連の保養地・ヤルタに集結した英・米・ソの3人の首脳たち。チャーチル、ルーズベルト、スターリンの3人が、戦後のヨーロッパでの主導権や、イスラエルの設立、そして日本との長引く戦いをめぐって、それぞれの思惑をぶつけたり、お茶をにごしたり、お菓子を食べて続けたりしながら、具体的なことは何も決まらないまま会談は進んでいきます。世界史上の重大秘密会談を描いたブラックユーモア満載のコメディです。

この作品は、当初は戯曲ではなく、柳家花緑師匠のために新作落語台本として書き下ろされました。この落語は、2002年10月、上野の鈴木芸場で高座にかけられました。私が観た回では、客席から「話が難すぎるよ!」とヤジが飛んでいて、私はとても申し訳ない気持ちになったものでした。あとで花緑さんに聞いたら、落語でヤジが飛ぶというのは、あまり聞いたことがないそうで、これはこれで、すごいことだと思った次第です。演劇版は、落語台本から三割ほどを書き変えたり書き足したりして、現在の形に至っています。(平田オリザ)



撮影：青木 司

TALK

14日(日) 17:00の回上演後に演出家によるアフタートークがあります

『隣にいても一人 - 広島編 - 』

朝目覚めると何故か夫婦になっていた昇平とすみえ。離婚の危機にある彼らそれぞれの兄と姉。二組のカップルを通して、夫婦のあり方を淡々と綴っていく平田オリザ流不条理劇。

この作品は、日本を代表する劇作家・演出家である平田オリザと山小屋シアターが連携し「繰り返し上演できる高品質な作品を、低予算で地域から創出する」という目的のもと、2007年に広島でオーディションを行い、制作・初演された作品です。平田と広島出身の青年団俳優が地元で長期滞在し上演、その後2008年1月に他地域で制作したバージョンを一堂に会して行った東京公演^{*}にまで至ったプロセスは、大きな注目を集めました。今年度は、青森編が盛岡で、関西編が帯広でといったように、各地の相互交流が始まっています。

このように、大きな予算をかけ一度限りの上演で終わる作品ではなく、他地域での上演や再演を重ねられる高品質な作品を生み出したことで、地域発信演劇のこれからの大きな可能性を提示しました。^{*}広島編の他、三重、青森、熊本、帯広、盛岡、関西、英語版リレーディング、同一作品8バージョンによる上演。



出演：『ヤルタ会談』松田弘子 高橋 縁 島田曜蔵『隣にいても一人 - 広島編 - 』河村竜也 坂田光平^{*} 田原礼子 池田あい^{*}(^{*}=オーディション合格者)

舞台美術：杉山 至 照明：岩城 保 装置：濱崎賢二 制作：佐藤 誠 林有布子

■青年団とは

劇作家・演出家の平田オリザを中心に1983年に結成。平田オリザが提唱した「現代口語演劇理論」を通じて、新しい演劇様式を追求。これにより、90年代以降のわが国の演劇シーンに少なからぬ影響をあたえ、演劇界以外からも強い関心を集める。また、2002年度からは、所属する劇作家・俳優などがユニットを形成し、そこで独自の公演を行う企画として、「青年団リンク」を立ち上げ、複数の演出家、劇作家、多数の俳優を有し、多彩な演目を観客に提供するという日本では珍しい「シアターカンパニー」を目指している。近年は特に、その活動を海外に広げ、毎年のように海外ツアーを行っている。

ヘッダ・ガブラー（鳥の劇場）

作：ヘンリク・イプセン 演出：中島諒人

9月18日(木)・19日(金) 19:30 20日(土)・21日(日) 17:00 22日(月) 22:00
17日(水) 20:00から現場のぞき体験があります(詳しくはP.31へ)

スタジオ 料金：大人=2,500円 中高生=1,000円 小学生=無料

ヘッダは高名な軍人ガブラー将軍の娘。自他ともに認める特権的な存在である。文明史を研究している凡庸な学者テスマンと結婚したばかり。社会の抑圧の中で、人生を男性のように自分の意志でコントロールしたいと感じているが、行動する勇気がなく、自力で生きていく力もない。才能あふれる学者レーヴボルクに自分の人生の希望をかつて託した。この男との久しぶりの再会、豊かな女性性と行動力をもったエルヴステード夫人との出会いが、ヘッダの人生を異様な方向に導いてしまう。

ある特異な性格傾向をもった人間を、日常ではあり得ないような状況に置き、その人が社会とどのようなきしみを見せるかを描くのが、ヘンリック・イブセンの手法です。特異な性格、あり得ない状況を土台にしているのが、ただエキセントリックな結末が導かれてしまいそうですが、人間と社会との普遍的な問題に光が当てられるのは、まぎれもなくイブセンの人間を見る力、ドラマを作る力のなせる業です。

この作品の主人公は肥大した自尊心をもった怪物で、英雄的に自分の人生を生きたいと願っていますが、リスクを恐れる怠惰と、女性を囲む社会的状況の中で動くことが出来ず、美しい自死を夢想しています。イブセンのしつらえをていねいに手探りして、そこに浮上して来る強烈なものをお客さんと分かち合いたいと考えています。(中島諒人)

出演：中川玲奈 齊藤頼陽 赤羽三郎 西堀 慶 村上里美 葛岡由衣 増谷京子 舞台美術：中島諒人 照明：齋藤 啓
舞台監督：村上裕二 制作：鳥の劇場

利賀フェスティバル2008招待作品

■鳥の劇場とは

演出家・中島諒人を中心に、2006年に設立。鳥取県鳥取市鹿野町の使われなくなった幼稚園と小学校の体育館を拠点に活動。創作・上演活動だけでなく、地域の文化拠点としての劇場作り、教育・普及活動にも力を注ぐ。「鳥の劇場」という名前は、劇団の名であり、場の名前でもある。公共の場としての劇場のあり方を模索している。

TALK 各回上演後に演出家によるアフタートークがあります



私の大切なもの（朗読グループ ひまわりの会）

9月20日(土)・21日(日) 14:00

劇場 料金：大人・中高生=500円 小学生=無料

私達は朗読劇『この子たちの夏』に会って、広島・長崎の被爆の惨状と、親を待つ子供たち、子を探す母の姿そして何年たっても癒えない思いを知りました。又、金子みすゞの詩に出会い、命の尊さ、見えないものへの深いまなざし、やさしさ、あたたかさを学びました。次代を担う子供や孫たちに、そして皆様に朗読を通して、今、“大切なもの”をお伝えてできればと願っています。

出演：秋田圭子 泡田芳子 今本明子 河上奈津代 河上友香 川島三恵子 柚和代 竹内和子 中村俊恵 原田小夜子

■朗読グループ ひまわりの会とは

1991年、鳥取演劇鑑賞会主催の朗読劇『この子たちの夏』の公演を機に結成。以後、毎年『この子たちの夏』の公演を鳥取県東部を中心に行う。そのほかにも金子みすゞの詩や自作エッセイ、民話などを題材に、戦争の愚かさ、平和への祈りを込めた朗読を展開する。会員数13名。

TALK

各回上演後に出演者によるアフタートークがあります





料理昇降機 (鳥の劇場)

作：ハロルド・ピンター 演出：中島諒人

TALK

各回上演後に演出家によるアフタートークがあります

9月27日(土)・28日(日) 14:00

スタジオ 料金：大人=2,500円 中高生=1,000円 小学生=無料

暗いじめじめした地下室。二人の殺し屋が、昨夜あたりから指令を待っている。二人の仕事は、この部屋に送り込まれる標的を銃で殺すことだ。指令はなかなか来ない。二人はいらだちながら、とりとめない会話で時を過ごす。突然、指令が届く。けれどそれは料理の注文だった。部屋には小さなエレベータ(料理昇降機)があり、指令はそこから来た。

資本主義経済の発達、戦争、工業化、情報化。人間を取り巻く環境はこの100年あまりの間に、大きな変化を強いられました。より大きな欲望と腕力と狡猾さを持ったものが広い場所を占め、そうでないものは自分の場を奪われる。人間集団は古くから大なり小なりそういうものだったのですが、この100年ほどは、その傾向が致命的に進みました。「格差」という言葉は、その一層の加速を思わせます。「料理昇降機」の二人の男(ベン、ガス)は、巨大な組織の一員として、殺し屋という汚れ仕事を担わされながら、自己の尊厳とか誇りを保とうと必死の努力をします。が、システムの圧倒的な力は、彼らの思いなど意に介することはありません。50年前、27歳のイギリスの若者が見通した世界のありようが現在も有効で、21世紀を予見していたかのようであることに、書く才能の不思議さとおそろしさを感じています。(中島諒人)

出演：齊藤頼陽 西堀 慶 舞台美術：中島諒人 照明：齋藤 啓 音響：村上裕二 制作：鳥の劇場

火宅か修羅か（青年団）

作・演出：平田オリザ

9月27日（土）・28日（日）17:00 26日（金）20:00から現場のぞき体験があります（詳しくはP.31へ）

劇 場 料金：大人=2,500円 中高生=1,000円 小学生=無料

湘南の古い旅館のロビーを舞台に、そこに集まり、通り過ぎて行く人々の静かな午後を描きます。

物語は、主に二つのグループの会話を中心に進みます。ひとつは、世間から逃げるようにこの旅館に住みついている小説家と、彼を訪ねてくる新妻や娘たち、編集者。もうひとつは、湘南で高校時代を過ごしたボート部員たちの同窓会。

逗子開成中学ボート遭難事件・七里ヶ浜の哀歌や、小説家が生涯の題材として取り組んでいるギリシャ神話を横軸に、一見無関係な二つの集団の会話が微妙に重なり合いながら物語は進んでいきます。

本作品は、1995年『東京ノート』で第39回岸田國土戯曲賞を受賞した平田オリザの受賞第一作として発表されました。富山・利賀村および東京・こまばアゴラ劇場で行われた初演は、演劇界のみならず各方面の注目と賞賛を集め、青年団にとって、『ソウル市民』、『東京ノート』を経て現在に至る、礎を築いたともいべき作品です。昨年の新キャストによる東京での再演を経て、待望の全国ツアーです。

出演：山村崇子 志賀廣太郎 兵藤公美 島田曜蔵 高橋 縁 能島瑞穂 申 瑞季 古屋隆太 鈴木智香子 古舘寛治 井上三奈子 大竹直 山本雅幸 荻野友里 堀 夏子 村田牧子 舞台美術：杉山 至 照明：岩城 保 舞台監督：中西隆雄 装置：濱崎賢二 衣裳：有賀千鶴 衣裳製作：菅かな女 制作：野村政之 佐藤 誠



『にんぎょひめ』の世界へようこそ！

講師：豊島理恵・楠原竜也・萩 窓子（『にんぎょひめ』出演）

9月15日（月・祝）10:00～12:00

劇 場 料金：500円 対象：小中学生 定員：25名（申込先着順）

※Tシャツ・ズボンなど動きやすい服装でご参加ください。

お芝居を鑑賞した後に、作品の世界と一緒に探検してみませんか？

『にんぎょひめ』に出演している俳優たちによるワークショップを開催します。俳優に出会い、一緒に作品世界を探検することで、より深く作品を楽しむことができるはず！
小中学生のためのプログラムです。

主催：鳥の演劇祭実行委員会（財）せたがや文化財団 文化庁

企画・制作：世田谷パブリックシアター

 平成20年度文化庁「舞台芸術の魅力発見事業」



撮影：石川 純

■豊島理恵(俳優/オペラシアターこんにゃく座)

東京生まれ。劇団俳優座付属演技研究生を経て、01年オペラシアターこんにゃく座に入座、現在に至る。主な出演作に『まげもん』(麻役)、『フィガロの結婚 或いは狂おしき一日』(ケルビーノ役)、『森は生きている』(むすめ役)、『鹿踊りのはじまり』(鹿役)、『Opera Club Macbeth』(魔女役)など。05年より世田谷パブリックシアター主催テレーサ・ルドヴィコ演出『雪の女王』、『にんぎょひめ』に出演。

■楠原竜也(振付家・ダンサー/APE主宰)

玉川大学卒業。2002年「APE」を結成。「多くの方にHAPPYを届ける」をテーマに、国籍・年齢・性別を問わず、楽しんでもらえる作品を創作。美術館や野外等でのパフォーマンスも行方。近年より、ワークショップや、学校・心身障害児者施設等へのアウトリーチも積極的に行ない、表現活動と教育活動を同時に実現することを目指している。05年より世田谷パブリックシアター主催テレーサ・ルドヴィコ演出『雪の女王』、『にんぎょひめ』に出演し、俳優としても活動開始。

■萩 窓子(俳優・パーカショニスト)

桐朋学園大学短期大学部演劇科卒業。87年より95年までパフォーマンス集団「時々自動」に参加、ベルリン、ミュンヘン公演にも出演し、音楽も担当。以来、シアターコクーン『夏の夜の夢』『三文オペラ』や加藤直構成演出『ミステリヤ・ブッフ』、オペラシアターこんにゃく座の『どんぐりと山猫』『北守將軍と三人兄弟の医者』などに打楽器奏者として出演、『ユビュ』の音楽を担当するなど、演技、演奏、作曲の分野で活動。世田谷パブリックシアター@スクール公演『うっかり、ちょっと、きのこ島』『どっこい商会』にも出演。07年より世田谷パブリックシアター主催テレーサ・ルドヴィコ演出『にんぎょひめ』に出演。



撮影:石川 純

平田オリザさんの コミュニケーションワークショップ

講師：平田オリザ

9月15日(月・祝) 13:00～16:00

スタジオ 料金：1,000円 対象：大人(高校生以上) 定員：30名(申込先着順)

※動きやすい服装でご参加ください。スカートは不可。

本演劇祭で作品を上演する青年団の主宰、平田オリザさんによるワークショップです。

このワークショップは、演劇経験のある方もない方も、楽しみながら、演劇について、言葉について、コミュニケーションについて考える時間を持つためのものです。気軽に参加して下さい。(平田オリザ)

鳥の劇場08年度プログラム“いっしょにやるプログラム”舞台芸術の講座4



■平田オリザ

劇作家・演出家。劇団青年団を主宰し、自身が支配人をつとめる、こまばアゴラ劇場を拠点として活動をしている。

現在、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授、首都大学東京客員教授、埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみマネージャー、三省堂小学校国語教科書編集委員、(財)地域創造理事、(財)舞台芸術財団演劇人会議評議委員、日本演劇学会理事、日本劇作家協会常務理事、独立行政法人国際交流基金「日韓文化交流懇談会」委員。

演劇はもとより教育、言語、文芸などあらゆる分野の批評、随筆などを各誌に執筆。近年は、公演やワークショップを通じて、フランスをはじめ韓国、オーストラリア、アメリカ、カナダ、アイルランド、マレーシア、タイ、インドネシア、中国など海外との交流も深まっている。また、2002年度から採用された国語教科書に掲載されているワークショップ方法論により、年間で30万人以上の子供たちが、教室で演劇を創るようになっていく。他にも障害者とのワークショップ、地元の駒場ほか、各自治体やNPOと連携した総合的な演劇教育プログラムの開発など、多角的な演劇教育活動を展開している。



撮影：青木 司

芝居創りの現場のどき体験

お芝居を創る現場をのぞいてみませんか？

上演前日の夜、一時間程度客席から現場をお楽しみいただけます。
俳優の稽古かもしれないし、照明、音響や舞台転換のリハーサルかもしれません。
創作現場の張り詰めた空気をご堪能ください。

料金：無料（演劇祭の公演を観る方に限ります）

※各回5名様限定、事前予約が必要です

- 9月12日（金）20:00～21:00 『にんぎょひめ』の現場
- 9月17日（水）20:00～21:00 『ヘッダ・ガブラー』の現場
- 9月26日（金）20:00～21:00 『火宅か修羅か』の現場





芸術活動と社会の関係を考えるシンポジウム

地方の現場から演劇の未来を考える

9月27日(土) 19:30~22:00

スタジオ 料金：無料

早稲田大学グローバルCOEと鳥の演劇祭実行委員会との
連携によるシンポジウムです。

地方における演劇の意味についての根源的な問いを追求、
地方ならではの(サイトスペシフィックな)演劇体験の意味、集合的記憶との関係、
コミュニティ形成と演劇、地域の中で文化を支えるしくみをどう構築するか、
観客の問題などを扱います。

主催：早稲田大学演劇博物館グローバルCOE「演劇・映像の国際的教育研究拠点」芸術文化環境研究コース 鳥の演劇祭実行委員会
鳥の劇場08年度プログラム“試みるプログラム”



■司会

野田邦弘（鳥取大学地域学部教授）

■パネリスト

伊藤裕夫（富山大学芸術文化学部教授）*

松井憲太郎（学習院大学大学院人文科学研究科講師／演劇批評家）*

小林真理（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）*

恵志美奈子（世田谷パブリックシアター学芸）*

五島朋子（鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授）

中島諒人（演出家／鳥の劇場主宰）

*＝早稲田大学演劇博物館グローバルCOE

「演劇・映像の国際的教育研究拠点」芸術文化環境研究コース客員講師



とっりの豊かさを

からだでかんじる
そのばでかんじる

周辺の自然や伝統を楽しもう！

とっとり体験プログラム

お祭りです！ せっかくだから、演劇はもちろん、鳥取のことも楽しんでいただきたい。
鳥取を初めて訪れた方も、普段住んでいる方にも。

鹿野 緑の中でマイナスイオンツアー！ 申込期限：9月7日まで

9月14日(日) 10:00～13:00

体験場所：法師が滝(鳥取市鹿野町河内)

参加費(昼食付)：大人(中学生以上)=2,600円 4歳～小学生=1,100円 定員：20名

緑の中のそのまた奥へ——。太古に修験者が修行した鹿野の奥地、法師が滝を目指します。
行者の息吹を感じながら歩いてみましょう。神秘的な空間と地元の方の温かいおもてなしが待っています。

備考：雨天中止。歩きやすい靴、服装、リュック、雨具を用意してください。昼食は、ヤマメの塩焼き、竹で炊いたご飯、山菜の天ぷらなど。





青谷 美しい和紙をすいてみよう！ 申込期限：9月13日まで

9月20日(土) 10:00~12:00

体験場所：長谷川寿製紙工場(鳥取市青谷町河原) 参加費：小学生以上=1,100円 定員：15名

“因州筆切れず”因州和紙は、つややかで筆滑りも良い、全国的にも有名な鳥取の特産品です。その名産地、青谷であなただけの和紙をすいてみませんか？古くから受け継がれ守られてきた職人さんの技を体験してみましょう。職人さん直伝で、和紙を手すきします。

備考：動きやすい服装(肘まで濡れるおそれがあります)、滑りにくい靴を用意してください。

鹿野・気高 しかの・けたか路 見仏記 申込期限：9月13日まで

9月21日(日) 9:00~12:30

体験場所：鳥取市鹿野町から気高町にかけて 参加費：500円 定員：10名

初秋の風を体に浴びて、田園風景に包まれながら鹿野・気高に点在しているお寺や仏像を自転車でのんびり巡ります。仏像好きの鳥の劇場メンバー・西堀慶がご案内します。ゆったり、まったり。お気軽にご参加ください。

備考：雨天中止。自転車に乗れる、動きやすい服装を用意してください。



気高

おかずは自分で釣食ります 申込期限：9月13日まで

9月23日(火・祝) 10:00~12:30

体験場所：船磯漁港(鳥取市気高町船磯) 参加費：小学生以上=1,100円 定員：15名

目の前に広がる日本海!遊魚センター魚見の森本さんの指導のもと、しかけの準備から始めて、防波堤で海釣りをします。魚がかかった時の”引き”の感触を味わってみませんか?

備考：天候によっては中止。動きやすい服装・タオルを用意してください。

遊魚センター魚見にて昼食を召し上がる場合、釣れた魚の調理代金をサービスいたします。

三朝

三徳山投入堂 修験者に挑戦! 申込期限：9月20日まで

9月27日(土) 9:00~12:00

体験場所：三徳山(東伯郡三朝町) 参加費：小学生以上=1,500円 定員：15名

太古の昔、役行者が岩窟にお堂を投げ入れて建立したという伝説のある投入堂。その本物の厳しい自然は修験者が選んだ修業の場。汗をぬぐってたどり着いたら神秘の絶景が!人生を変えてくれるかもしれません。

備考：天候によっては中止。動きやすい服装を用意してください。

テレサさんといっしょにからだであそぼう

講師：テレサ・ルドヴィコ（『にんぎょひめ』脚本・演出）

豊島理恵 楠原竜也（『にんぎょひめ』出演）

7月29日（火）14:30～17:30・30日（水）10:00～14:00

劇場

料金：1,000円（2回セット） 対象：小学生（4年生以上） 定員：20名（申込先着順）

※Tシャツ・ズボンなど動きやすい服装でご参加ください。

『にんぎょひめ』をはじめ世界各国で活躍し、脚本家・演出家としてさまざまな演劇創作を手がける
テレサ・ルドヴィコによる、子どもたちを対象とした演劇ワークショップ。

テレサさんと一緒にからだで遊ぶ楽しさを発見し、物語を想像する喜びを感じてみましょう。

主催：特定非営利活動法人鳥の劇場（財）せたがや文化財団 文化庁
企画・制作：世田谷パブリックシアター

🌀 平成20年度文化庁「舞台芸術の魅力発見事業」

鳥の劇場08年度プログラム“いっしょにやるプログラム”舞台芸術の講座3



撮影：Vito Mastrolonardo

鳥取の子どもたちへ

みなさん、こんにちは。二日間、身体や声を使ったエクササイズをやって、一緒に楽しい時を過ごしましょう。わたしがいつも俳優たちとやっているのと同じエクササイズです。そして、すてきな日本のお話に、動きをつけて遊んでみましょう。お話を読んで、自分がどの役になり、どんなことをするのか、想像してみてください。そしてたくさん楽しみましょう！

イタリアより愛をこめて テレーサ・ルドヴィコ

■テレーサ・ルドヴィコ (Teresa Ludovico)

15年間に渡りテアトロ・キズメット (イタリア) で脚本、演出を手掛ける。

01・03年にシアター・ラムでも上演した代表作『美女と野獣』は、シンプルな舞台と生の音楽、幻想的なヴィジュアル、ドラマティックなストーリー展開で子どもたちの想像力をかきたて、イタリア、イギリス、フランス、スイス、日本など世界各国で賞賛を浴び、3年以上に渡るロングラン上演を行う。イタリア国内では02年シーズンの子どもと青少年向けの演劇ベストワン (lo stregagatto賞) を受賞。また上演活動の傍ら、知的障害を抱える俳優たちや、地元の女性刑務所の囚人たちとの演劇創作にも積極的に取り組む。05・06年には世田谷パブリックシアターをはじめ全国の劇場で、日本の俳優や音楽家の出演する『雪の女王』を演出、07年には『にんぎょひめ』を初演し、共に好評を博す。06年にはこども向けオペラ『豚飼い王子』を創作、ヨーロッパ版『雪の女王』と共に、ヨーロッパ各国で上演している。



演劇祭をいっぱい楽しもう！～鹿野編～

観劇といっしょに「鳥の劇場」のある鹿野を満喫できるプランを考えてみました。

～12:00

12:30～13:30

14:00～15:30

終演後～16:30

とっとり体験プログラム（詳細は35ページへ）



お食事処・夢こみちで昼食



夢こみちの「すげ笠弁当」
地元の食材を鹿野特産のすげ笠に盛ったお弁当。地元のお母さんたちが真心こめて作っています。鹿野に来たら一度はご賞味あれ。
営業時間10:00～15:30
Tel: 0857-38-0001
劇場より徒歩5分



1作品めを観劇



ちよつと休憩
周辺の古きよき鹿野の町を散策



お土産を買うならここ!!

■鹿野ゆめ本陣
手作り小物などのお土産を販売、観光の案内もしてくれます。
営業時間 10:00～16:00
Tel: 0857-84-1711
劇場より徒歩5分

■鹿野おもしろ市場
地元のとれたての野菜や果物が中心の産直市場です。鹿野そばを楽しめる食堂もあります。
営業時間 8:30～18:00
Tel: 0857-84-3456
劇場より徒歩10分

■平吾菓子舗
戦国の武将・山中鹿介にちなんで「鹿之介饅頭」が有名です。
営業時間 8:00～19:00
Tel: 0857-84-2102
劇場より徒歩7分

これのり
戦国時代に鹿野城主であった亀井茲矩が行ったまちづくりの跡が今も残る城下町・鹿野。往時のままに流れる水路、京風千本格子の町屋、工夫を凝らした石造りの足下行燈。町の歴史はざっと400年。この風情もお楽しみください。

※地図はP.45をご参照ください。

17:00~18:30

終演後～ 星空もおすすめです



「カフェしかの心」でほっと一息
青年学校、メリヤス工場などに使われていた古い建物を改装し、6月にオープンしたカフェです。
営業時間10:00~16:00
Tel:0857-84-3801
劇場より徒歩2分

→ 2 作品めを観劇 →

観劇後は温泉へ「ホットピリア鹿野」でゆったり



泉源豊富で泉質もマイルド。弱アルカリ性で、通称「おんな水」と言われるほど肌にやさしく、入れば美人になれると評判です。
営業時間10:00~22:00
Tel:0857-84-2698
劇場より徒歩10分

ぜひ食べてほしい一品!!



■橋本牧場イタリアンジェラートアイス工房/自家牧場の搾り立て牛乳を旬の素材でジェラートに。「カフェしかの心」でも販売しています。
営業時間 10:00~17:00 Tel:0857-84-1555 劇場より徒歩15分



■高田食品のそば豆腐/鹿野名産のそばを使った一押し商品。そばの風味が消えないようにわさび醤油がおすすめです。
営業時間 9:00~18:00 Tel:0857-84-2103 劇場より徒歩7分

お泊りはこちらへ!!

国民宿舎山紫苑/鳥取市鹿野町今市972-1 Tel:0857-84-2211

お宿 夢彦/鳥取市鹿野町今市8 Tel:0857-84-2411

愛日苑/鳥取市鹿野町今市540-1 Tel:0857-84-2222

吉岡温泉(吉岡温泉旅館組合)/鳥取市吉岡温泉町868-10 Tel:0857-57-0800

演劇祭をめいっぱい楽しもう！～旧市内編～

これだけは押さえておきたい！観劇前に鳥取の名所を見られるプランを考えてみました。

9:10 9:32

10:29 10:46

鳥取駅出発



0番乗り場から乗車、
バスで移動、
終点で下車

鳥取砂丘着



鳥取砂丘

鳥取に来たら一度は砂丘へ！東西16km、南北2kmにもおよぶ大砂丘は圧巻です。靴を脱ぎ裸足になって丘のてっぺん目指していざダッシュ！登りきったら目の前に大海原が広がります。来年1月まで「砂の美術館」も開館中。

鳥取駅からバスで約20分



鳥取砂丘出発



鳥取城跡で下車、
ループ麒麟獅子に乗車、
バスで移動

仁風閣着



仁風閣

明治40年(1907)年に皇太子(のちの大正天皇)の山陰行啓の宿舎として建てられた旧藩主池田家の別邸。フレンチルネサンス様式の白亜の洋館で、柱のない螺旋階段は必見です。国指定重要文化財。

営業時間 9:00～17:00(最終入館16:30)

入館料 一般150円 Tel: 0857-26-3595

鳥取駅から徒歩20分

他にもこんな場所があります!! -----



鳥取民藝美術館

鳥取民芸運動の指導者吉田璋也のコレクションを展示しています。国内外の優れた名品、特に李朝のコレクションが見所です。ミュージアムショップが併設されています。

営業時間 10:00～17:00 Tel: 0857-26-2367 鳥取駅から徒歩5分



鳥取城跡・久松公園

豊臣秀吉の兵糧攻めで有名な鳥取城。市内を一望できる「山上ノ丸」までは徒歩約40分。遠く日本海まで見渡せます。仁風閣は久松公園の中にあります。

※地図はP.46をご参照ください。

JRの出発時間まで約2時間

鳥取駅までちよつと散歩



カフェでランチ

仁風閣から鳥取駅に行く道すがら、カフェでランチはいかがでしょうか? カフェは鳥取でもブーム。お気に入りのお店を見つけれられるかもしれませんよ。

おすすめカフェ



cafe SOURCE / 鳥取カフェブームの火付け役。椅子が1脚1脚違うのでどこに座ろうか迷うかも。

営業時間 12:00~24:00

Tel: 0857-21-3457



■Upot / 街で人気のクレープ屋さん。子どもから大人まで幅広い年齢層に支持されています。トッピングにソフトクリームをのせて食べれば至福のひととき!

営業時間 11:00~14:00/15:00~20:00

Tel: 0857-24-5545



■紅茶専門店 ダウラ/仁風閣近くの閑静な住宅街にあります。庭を眺めたいだけ紅茶は大人の味わい。自家製のスコーンとキーマカレーも忘れずに!

営業時間 10:00~19:00

Tel: 0857-21-3101



■pâtisserie & café・drop / 昔なつかしいアーケードの一角にお店はあります。木のぬくもりのある店内でケーキを食べればやさしい気持ちになれるはず。

営業時間 12:00~22:00

Tel: 0857-29-1506

12:56

13:23

14:00

鳥取駅出発



JRで移動

浜村駅着 足湯でひと休み



足湯/浜村駅前には足湯があります。足をつけてのんびり汽車を待つ学生やお年寄りの姿がちらほら。心和む風景です。

ふねの「貝がらもなか」/浜村の老舗和菓子屋・ふねの看板商品。お店は徒歩だと少し遠いですが、浜村駅前の観光センターでも買うことができます。

[気高町観光センター]

営業時間 8:30~18:30

Tel: 0857-82-0829

[ふね]

営業時間 8:00~18:00

Tel: 0857-82-1563



送迎車で移動(送迎は無料・要予約)

劇場にて観劇

鹿野町 MAP



他にもこんな場所があります!!

●鹿野そば道場

本物の道具を使って、手打ちそばを体験できる道場です。

もちろんお食事もできます。

営業時間 11:30～14:00 (土日祝日は15:00まで営業)

Tel:0120-135-228 劇場より徒歩8分

●工房わびすけ

福祉施設「鹿野からみ園」「鹿野第二からみ園」が運営する工房。

素焼きの人形「ウマノナド」に心癒されます。

営業時間 10:00～15:00 Tel:0857-84-1010

劇場より徒歩3分

「ぷらっとしかのガイドの会」

城下町の街並みや建物をガイドと一緒に散策しながら、
鹿野の歴史や文化を感じてみませんか？

■お問合せ・お申込み先/鹿野ゆめ本陣 Tel:0857-84-1711



鳥取市街地MAP

0 150 300 450m



鳥取は市街地にも温泉があります。
350円でさっと入れる温泉銭湯をご紹介します。

- 日乃丸温泉 (0857-22-2648)
営業時間 6:00~24:00
- 元湯温泉 (0857-22-7617)
営業時間 6:00~23:00
- 木島温泉 (0857-22-2975)
営業時間 16:00~23:00
- 宝温泉 (0857-22-6310)
営業時間 16:00~22:00

「鳥取市観光ガイド友の会」

鳥取の知られざる歴史を聞きながら
歩いてみませんか？

■お問合せ・お申込み先／鳥取市観光協会
Tel: 0857-26-0756

◆がカフェです。

演劇祭を評価する試み

「演劇祭の効果測定をして欲しい」と、鳥の劇場の中島さんから、この2月にお電話を頂きました。私は、東京の世田谷パブリックシアターで、お芝居の開幕を待っているところでした。世田谷区立のこの劇場は、優れた舞台芸術活動で全国的にもよく知られた公立文化施設です。その場所でこの電話を受けたことが、今、不思議なつながりに思えます。なぜならば、そこは文化事業の評価にも先駆けて取り組んできた劇場だからです。

今年初めて開催される「鳥の演劇祭」は、県や市の補助金、つまり税金を使って行われる文化事業です。演劇公演のような芸術活動の成果を、どのように評価したらよいのでしょうか？集めた観客数の多さでしょうか？人の心に深く作用する芸術活動の評価に、これといって決まった方法はいまのところありません。

そこで、今回は、主催者である鳥の劇場、鳥取県、鳥取市が同じテーブルにつき、鳥取大学も一緒に、演劇祭の目標、評価の方向性、調査の内容について話し合いを重ねてきました。現在のところ、次のような調査を実施する予定です。

-
1. 観客、関連事業の参加者、参加劇団、ボランティアスタッフに対して、演劇祭の内容や運営について、満足度、成果などを尋ねるアンケート調査
 2. 開催地である鹿野町の町民全員に対する、演劇祭の認知度や成果などを尋ねるアンケート調査
 3. 演劇祭がどの程度知られたか、演劇祭実施後の街頭インタビュー調査
 4. 観客の消費行動や新聞掲載記事による広告効果などの経済波及効果の測定
 5. 演劇祭に関わる様々な立場の方々に、直接お目にかかってお話を伺うインタビュー調査
-

以上の調査を踏まえ、このような演劇祭があることで、私たちの日々の暮らしはどのように豊かになるのかを、「10年後～鳥取のある1日の物語」といった夢の将来像にして描き出したいと考えています。

皆様のご意見で、この演劇祭を、ひいては鳥取の文化的な環境を育てていきましょう。それが、私たちの住む鳥取の未来に大きく影響するものと思います。是非、アンケートなどへのご協力をよろしくお願いいたします。調査結果は、冊子にして皆様にご報告する予定です。

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授 五島朋子

鳥の演劇祭開催に寄せて

第1回の鳥の演劇祭が開催されることとなりました。この演劇祭は、鳥取県をはじめとし、財団法人地域創造、鳥取市、各協力団体のご支援、ご協力により実施されるものであります。

文字通り県民・市民の総力を結集した演劇（芸術）の祭典が行われることは、実行委員会会長として、又市民の一人として喜びにたえません。日頃お互いに接する機会の少ない市民が、この演劇祭を通じて様々な交流を図ることは鹿野町－鳥取市－鳥取県のさらなる発展に欠く事の出来ない大きな行事の一つになると確信するところであります。

この演劇祭の開催期間中一人でも多くの市民が来場・参加され、県外からも多くのお客様を迎えて、所期の目的を達せられるよう心から祈念します。

鳥の演劇祭実行委員会会長 長尾裕昭

鳥の演劇祭実行委員会	会長	長尾裕昭(株式会社ながお代表取締役/NPO法人いんしゅ鹿野まちづくり協議会理事長)
	副会長	谷口博文(谷口和紙株式会社代表取締役/日本・紙アカデミー理事)
	委員	衣笠克則(鳥取県文化観光局長)
	委員	西村朋之(鳥取市企画推進部文化芸術推進課長)
	委員	五島朋子(鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授)
	委員	中島諒人(特定非営利活動法人鳥の劇場主宰)
	監事	荒金啓介(山陰合同銀行三朝支店長)

■鳥の演劇祭(問合せ窓口) 〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 鳥の劇場内 電話 0857-84-3612

■鳥の演劇祭実行委員会事務局 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県文化政策課内 電話 0857-26-7134

電子メール engekisai@birdtheatre.org ウェブ www.birdtheatre.org/engekisai/

主催：鳥の演劇祭実行委員会 助成：財団法人地域創造

後援：新日本海新聞社 朝日新聞鳥取総局 山陰中央新報社 毎日新聞鳥取支局 読売新聞大阪本社 中国新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 日本海テレビ BSS山陰放送 山陰中央テレビ

協力：NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 写真協力：米井美由紀 機材協力：オハラ企画

第6回鳥取県総合芸術文化祭参加事業